

ISO八潮市環境マネジメントシステム

平成22年度の市役所のエコオフィス取組状況を報告します。

温暖化防止への取組み

市では環境方針を制定し、平成16年度から環境マネジメントシステムを構築して環境負荷の削減に取り組んでいます。システムの実施範囲は本庁舎・別館、消防署、保育所などすべての施設で、市の施策・事業がシステムの対象です。

市役所ではエコオフィスに取組み、電気・ガス・水道などの使用量やごみ発生量の削減、紙ごみの再資源化に取り組んでいます。

特に電気・紙・水使用量、ごみ発生量については、システムの中で環境マネジメントプログラムを策定して、具体的に削減目標を設定しています。なお、紙ごみの再資源化については、職員の回収作

表1 削減取組み結果と削減額

項目	平成22年度		平成15年度 使用(排出)量	削減量	削減率 (%)	単価 (円) ※2	削減額(円)
	目標	使用(排出)量					
電気使用量 (kwh)	平成13、14、 15年度の平均 値と比較して、 3%削減	3,172,980	3,397,826 ※1	224,846	6.6	25	5,621,150
紙使用量 (枚)	平成15年度 と同様	2,988,683	2,809,109	-179,574	-6.4	3.2	-574,637
水使用量 (m)	平成15年度 と比較して、 5%削減	34,344	34,783	439	1.3	270	118,530
ごみ排出量 (kg)	平成15年度 と比較して、 20%削減	53,133	71,080	17,947	25.2	32	574,304
合計削減額(円)							5,739,347

※1 電気使用量の消防署分については、新設された消防庁舎の平成22年度分の数値を使用
※2 単価は、16年度取組み結果で使用した数値

業により行っています。
平成22年度の削減取組み
目標は、電気は平成13、14、
15年度の使用量の平均値と比
較して3パーセントの削減、
紙は平成15年度の使用量を維
持、水は平成15年度の使用量
と比較して5パーセントの削
減、ごみ発生量については平
成15年度と比較して20パー
セント削減としました。

削減結果については表1の
とおりで、紙と水の使用量は
削減目標を達成することがで
きませんでした。

二酸化炭素排出削減への取組み

平成22年度の二酸化炭素の
排出量は、それぞれのエネル
ギーの使用量(単位はkg/C
O₂/kg)に排出係数を乗じ
て計算します。エコオフィス
の取組みによる削減量は表
2のとおりで、平成15年度と

表2 二酸化炭素排出削減量

エネルギーなど	排出係数	平成22年度 排出量(kg)	平成15年度 排出量(kg)	削減量(kg)
電気	0.395	1,253,327	1,342,141	88,814
水	0.36	12,364	12,522	158
ごみ	2.69	142,927	191,205	48,278
合計	-	1,408,618	1,545,868	137,250

※紙使用から発生する二酸化炭素については、製紙会社の製造工程でカウントされて
いますので市のマネジメントシステムの中には含まれていません。
※電気の排出係数については、東京電力機の排出係数です。
※二酸化炭素削減量137トンとは、ぶな林24ヘクタール(やしお中央公園約21個分)が
1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。

比較して13万7250キログ
ラム削減できました。

ISO14001の取組みで
平成22年度は、約573万9千円
削減できました!

普段の生活を 見直してみませんか!

私たちは毎日生活するうえで多くのエネル
ギー、資源を消費しています。エネルギーの
消費による二酸化炭素をはじめとする地球温
暖化ガスの排出は、異常気象を引き起こす
原因の一つと考えられています。

エネルギーの消費は何かの形で地球温
暖化を招きます。市民の皆さんもライフスタイル
を見直すことをはじめとして、地球温暖化
防止に取り組んでみま
しょう。省エネルギー、
省資源は温暖化防止
だけでなく経費の削減
にも通じます。



八潮街並みづくり100年運動の取組み

八潮街並みづくり100年運動実行委員会では、今年度も「八潮ら
しい街並みづくり」に向け、さまざまな取組みを行う予定です。皆
さんもぜひご参加ください。

問都市デザイン課 ☎346

八潮街並みづくり100年
運動も4年目の活動となりま
した。
これまで、地域性を生かし
た「街並みづくり」や「住宅
モデル」の提案、資源活用プ
ロジェクトとして、資源をモ
チーフとした「八潮アロハ」
や公園のトイレを飾りつける
「トイレンナール」の提案、
「しよく(食、職)」に着目した
「しよくにんインタビュー」
など、さまざまな活動、提案
を行ってきました。
今年度は、次のプロジェク
トを連携大学と進める予定で
す。

プロジェクト① 家づくりガイドライン

50年、100年先を見据え
た八潮らしい街並みづくりの
ため、家づくりに関するガイ
ドラインを検討します。

ガイドラインには、八潮ら
しい街並み形成に向けた家づ
くりに関するアイデアのほ
か、八潮での生活の仕方、家
づくりに必要なさまざまな情
報を掲載したいと考えていま
す。

今後、皆さんのご意見を募
集する予定です。

プロジェクト② 資源活用プロジェクト 「まちのツカイカタ」

第10回環境首都コンテストにおいて 100年運動の活動が先進事例として 特別表彰を受けました!

八潮街並みづくり
100年運動は、「外部の視点を取り
入れたこと」「地域の
価値を再認識する
こと」「当事者とし
て市民・事業者が
参加していること」
などが評価され、
先進事例の中で
評価が高く、持
続可能な地域社
会をつくる先進
的かつ具体的な
施策であると認
められて、先進
事例特別表彰を
受けました。



「まち」には、その魅力に
気づかず、十分に利用・活用
されていない場所や空間がた
くさんあります。そこで、建
築や環境デザインの立場から、
八潮の「まち」をあらためて
調査し、市民の皆さんに身近
な場所を「こんな使い方」や
「こんな仕掛け」をすると、
日々の生活や余暇活動をする
なかで「楽しく、喜びのある
空間に変わるのではないか」、
また、「魅力ある街並みが形
成されていくのではないか」
という「まち」のリノベーシ
ョン(改修)を提案します。
また、今年度はこの提案の
中から、モデル事業を実践し
ます(八潮アロハ(ポロシヤ
ツ)プロジェクトは既に実践
しています。
※詳細が決定期間お知らせ
します。

まちづくりフォーラム

1年間の活動成果の発表会
である「まちづくりフォーラ
ム」を平成24年1月に開催す
る予定です。

皆さんの参加をお待ちして
います。